

「全少」を日本一研究する指導者による提案

# ZENSHOに 挑戦しよう！



養正館館長・渡辺貴斗 第27回



男の子と女の子（その11）

## 女の子への実際の指導 1（人間関係に敏感）

渡辺貴斗先生には、今月号 108-109 ページ、第 26 回「ZENSHO に挑戦しよう！」の連載で、これまで男の子の指導方法を 4 回に渡りご紹介していただけてきましたが、このページ第 27 回から女の子の指導方法の掲載がスタートです。楽しみです。

この第 27 回からはチョッピリですが、リニューアルになります。リニューアルを記念して今回は特別にカラーページ。渡辺先生の連載も 3 年目に突入しましたが、毎回新鮮な内容で、多くの読者の方から期待されています。

### ★男女で脳が違う

男女で脳の違いがあることは、科学的にもすでに明らかになっています。主に、胎児のときに羊水に分泌される男性ホルモンの量に影響を受けます。女の子の胎児でも男性ホルモンをたくさん浴びれば、やんちゃな女の子になりますし、男の子の胎児で男性ホルモンをあまり浴びないと落ち着いた大人しい子になります。

一般的に男性脳は、競ったり、戦ったり、探検したり、スリルを好み、興味のあることにのめり込みます。女性脳は、みんなで仲良くおしゃべりしたり、周りと共に共感・協調し、相手の表情から小さな変化を見抜くのが得意です。

これは、古代より、男性は狩猟を、女性はグループで果物を採集したり子育てしてきたことから、このような遺伝的な性差が進化の過程で生まれてきたと考えられています。第 26 回（本誌 108、109 ペー

ジ）まで男の子の指導について述べてきましたが、このように男の子とは明らかに異なる女の子について、この第 27 回より数回に分けて、その指導法について考えていきたいと思います。

### ★女の子は人間関係に敏感

女の子は、人間関係を大事にします。というより、常に友人との関係が第一の関心事で、自分が孤立しないかと不安に思っています。ささいなことで、「あの子、気にいらぬから仲間外れにしよう」とリー



女の子は常に人間関係を気にします。友人関係も年下の子も年上の子でも同様。

ダ一格の子がグループから締め出したりします。「みんなから無視された」、「私の外見は変じゃないか」、「私だけ誘われなかった」など、女の子は常に相手の表情から何か情報がないか読み取ろうとし、仲間外れを恐れます。ちょっとしたことで、ひどく傷つき、デリケートです。

一方、男の子は単純で、女の子とは正反対の生き物です。男友達が何に興味を持とうが気にせず、自分のやりたい事をやります。相手に合わせたりしません。男の子同士で衝突したら、殴りあってケンカして、何も無かったかのようにまた仲よく遊びます。このように男の子は単純で、女の子は複雑です。

道場でも、女の子同士のトラブルは通常、水面下にあるので、発見が遅れがちです。男性指導者は女性に比べ鈍感ですので（元男の子なので）、事態が悪化してから気付くことになり、対応は後手に回ってしまいます。

### ★女の子同士のトラブル回避

それでは、対応策はどのようにとったらよいのでしょうか？

養正館では、女性指導者に指導を手伝ってもらって、空手ノートを書かせて週に一度提出させる、「友達とは、うまくいってる？」と話しかけ話しやすい雰囲気を作る、などに気を付けています。養正館には、女性指導者が複数名いますが、こういった敏感でデリケートな問題に気付くのはいつも女性指導者です。清美先生（私の妻）になら悩みを打ち明けられるという女の子も多くいます。

次に空手ノートです。以前、学校でイジメにあっている女の子が、空手ノートに書いて相談してきたことがありました。すぐに対応を考え、学校に連絡することで、早期に問題解決したことがあります。他にも、イジメとはいええないような小さな人間関係のトラブルを、行間を読んで発見し、何度か未然に防いできました。

最後に話しやすい環境を作る、ですが、指導者と子どもたちとの信頼関係を築けないと向こうから話をしてきてくれません。かと言って完全に友達関係になってもダメですし、怖い先生として「子どもを寄せ付けないオーラ」を出すのもダメですね。父性役の指導者と母性役の指導者がいると理想的ですが、通常は一人の先生で指導していると思いますので、頑張って一人二役やるようにします。



女の子の指導では厳しいだけでもダメ、友達感覚でもダメ。

### ★女の子は共感・協調する生き物

指導者の好き嫌いで、特定の女子を選手として選んだりすると、他の女子から総スカンを食らいます。誰もが納得する方法で、選手を選ぶなどの公平性が大事になるでしょう。

女の子は、人間関係を大事にしますので、男の子が気にしないようなことにも強く反発します。「俺が館長（監督）だ！ 誰にも文句は言わせない！」もカリスマ性があっていいのですが、これを続けていくと内部から人間関係が崩壊していきます。女の子は共感・協調する生き物ですので、女の子全体がグループ化して反発するような事態に発展するかもしれません。

### ★お母さんも女の子

お母さんは元「女の子」ですので、自身も女の子時代を経験しており、娘の気持ちや考えていることが嫌というほど分かります。時には、娘の考えていることが分かり過ぎて、自分を見ているようで、それが鼻につくほどです。

一方、男性指導者やお父さん方は（私も含め）、女の子が考えていることは、本当のところはよく分かりません。同様に、お母さんも息子の考えていることが理解できません。「なぜ、靴が汚れるのに水たまりにわざわざ飛び込むのか？」、「なぜ、危ないのに高いところに上りたがるのか？」、「なぜ、おもしろくもない電車の路線図を全部覚えるのか？」など。

このように、異性脳の考えていることは本当のところは良く分からないのですから、大人は、異性の子どもの思考パターンについて、少し勉強して理解



しておく必要があるのです。そうすることで、男性としての価値観を女の子に（もしくは女性としての価値観を男の子に）押し付けることがなくなり、子どもたちの思考パターン、行動パターンを予測できるようになり、子どもたちとの衝突を避けることができるのです。

### ♥女性指導者の立場で（渡辺清美）

子供たち（特に女の子）やママさんの様子がおかしいと感じたら、すぐに話を聞いて悩みや不安材料を取り除いてあげるのが私の仕事だと思っています。

道場長（貴斗先生）は常に全体の指導で手が離せませんので、小さな問題に気づいて、その子（もしくはママさん）に十分な時間をとって話をすることが私にはできます。男の人は話を早く切り上げたいので必要なことを合理的に話して結論だけ聞き出そ



うとしますが、女性指導者はママさんと世間話から始め、じっくり悩みを聞き出すことができます。

このように、女性の特性をうまく生かして、指導の分担ができていることが、養正館の試合成績につながっているのだと考えます。

### PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から父である館長から空手の手ほどきを受ける。先代の病気をきっかけに養正館を継ぐ。児童心理学や成功哲学を研究して子どもたちの「心をつくる」指導法に切り替え、2013年全少5名入賞、2014年・2015年と2年連続で7名入賞、2016年5名入賞させ全国最多入賞道場となる。道場経営でも、一道場で350名を超える大躍進を続ける。



日本空手道鴻志会空手道場養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12

## Column

## 2017年養正館・驚異「全少出場 20名！」

全少の静岡県予選会が、4月23日に開催されました。今年の養正館の結果ですが、20名の出場が決定しました（去年の16名から4名増えました）。形16名、組手4名です。次は、全少入賞目指して頑張ります。



【写真上（前列・中央・後列の順に左から右へ）】

小1女子組手1位・工藤彩音 / 小1男子形1位・安宗春輝（組手1位） / 小1男子組手3位・竹内相志 / 小2女子形2位・阿部心春 / 小3男子形1位・公門里孔 / 小3男子形3位・大河稜旺 / 小3男子形2位・松本颯哉 / 小6女子形シード・倉岡穂乃花 / 小5女子組手2位・阿部日葵 / 小6女子形3位・櫻井香美

【写真右上（前列・後列の順に左から右へ）】

小1男子形2位・三井諒一朗 / 小1女子形1位・吉塚樹愛 / 小2男子形2位・伊藤泰暉 / 小4男子形1位・伊藤耀聖 / 小4女子形4位・長島心華 / 小6女子形1位・江藤風沙

【写真右下（前列・後列の順に左から右へ）】

小4女子形3位・望月結以 / 小3女子形1位・勝又蒼唯 / 小5男子組手1位・芹澤理一 / 小5女子形2位・勝又美音



全少  
DVD  
p156~

